



# The Geomorphology of the Anthropocene and Implications for Sustainable Rivers and Slope systems

## 人新世の地形学と持続可能な河川・斜面システム

### Professor Tony Brown

トニー・ブラウン(英国サウサンプトン大学教授／地球研招へい外国人研究員)

日時

2017年5月30日(火) 15:00-17:00

場所

総合地球環境学研究所 講演室

# The Geomorphology of the Anthropocene and Implications for Sustainable Rivers and Slope systems

## 人新世の地形学と持続可能な河川・斜面システム

2017年5月30日(火) 15:00 - 17:00  
総合地球環境学研究所 講演室

### 講演要旨

人新世(アンソロポシーン)は自然科学の研究者にとっても社会科学の研究者にとっても、そして市民にとっても重要な概念となりましたが、問題がないとはいえません。例えば、すでに人新世に入ったことは、今やほとんどの地域で反駁しがたい事実となっていますが、人新世がいつから始まったのか、その時期ははっきりしません。人新世の特徴を時間軸上で理解しようとする、地質時代という型にはまった理解をしなければならないという問題に行き当たりますが、それ以上に、自然と人為の相互作用が今も続いているという事実を理解することが重要です。そうすると、現在の環境知は常に過去の環境知に勝るといふ思い込みで警鐘を鳴らすことができます。環境史の研究は、人新世以前と現在という誤った二分法を避けるために重要なのです。この講演では人新世を地形学の視点から研究した事例を取り上げ、人新世をめぐる諸問題について考えてみます。

### Abstract

The Anthropocene has become an important concept for natural scientists, social scientists and the public but it is not unproblematic. This paper will present a review of the geomorphological case for the Anthropocene and finds it overwhelming in most areas, but with no clear starting point. Whilst the diachronous nature of the Anthropocene presents problems for its formal recognition as a geological period it is important in understanding the interaction of natural and anthropogenic processes that still continues, and it cautions against the assumption that modern environmental knowledge is always superior to that in the past. Studies of environmental history are important in avoiding a false dichotomy between the pre-Anthropocene and today.



### 講演者

## Professor Tony Brown トニー・ブラウン教授

英国サウサンプトン大学地理環境科学部教授／ノルウェー・トロムソ大学客員教授。

専門は自然地理学(特に沖積地の地形学)、古生態学、栄養考古学。最近では堆積物から古代DNAを直接抽出するsedaDNAの研究を進めている。また、学術誌 *The Anthropocene* の編集委員も務めている。2017年5月末まで、招へい外国人研究員として地球研に滞在中。

### 問い合わせ

総合地球環境学研究所  
近藤康久  
Kondo @ chikyuu.ac.jp



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構  
**総合地球環境学研究所**  
Research Institute for Humanity and Nature  
〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457番地4

### アクセス

#### ■ 地下鉄烏丸線

京都駅 → (20分) → 国際会館駅  
→ 京都バス40系統「京都産業大学ゆき」または  
50系統「市原ゆき」または  
52系統「市原経由貴船口・鞍馬・鞍馬温泉ゆき」  
→ (6分) → 地球研前] バス下車すぐ

#### ■ 京阪沿線

出町柳駅 → 叡山電車鞍馬線(17分) → 京都精華大前駅  
→ (徒歩10分) → 地球研

マイカーでのご来場は固くお断りします。  
公共交通機関をご利用ください。

